

わが町の名人・達人・職人

上島町には、様々なことにたけている名人や達人、また職人を生業にしている匠の方々がおられます。

今月号から、そんなわが町の人々をご紹介します。今月号は、弓削地区の田房萬千榮さんをご紹介します。

健康長寿の達人



たぶさ まちえ 田房萬千榮さん
(明治36年3月16日生まれ)

田房さんは、今年3月で百二歳になられました。そんな田房さんにお話を伺いました。

田房さんは、現在の今治市大西町に生まれ、愛媛女子師範学校を卒業後、3年間の小学校教諭を経て、23歳で嫁入りし、戦時中は中国の南京に渡りました。終戦後、日本に戻ってきてからは、みんなを助けられる仕事をしようと、薬事法を丸暗記して試験に受かり、田房薬店を始めました。以来、95歳頃まで50年以上の間、薬店を営みました。旦那さ

んは、数十年前に亡くなられましたが、今でも元気に一人暮らしをしています。

①趣味は？

今は、オセロとかご編みです。手を使うことで頭を使うのでよくやっています。



田房さんはナイロンひもできめ細かいかごを編む職人さんでもあります

②毎日の生活は？

午前3時に起きて朝食を摂ります。ピーナツバターを塗った食パン半分と牛乳を一杯、それとリンゴを半分食べます。毎日同じメニューです。それからまた床について、5時に起きて按摩器に座ってリラクセスし、新聞を読みます。新聞は日本のこと、世界中のことがわかり、有り難いも

のですよ。

お昼は、いろいろな物を食べます。ラーメンも好きですよ。晩ご飯は、6時頃から必ず白ご飯を食べるようにしています。ご飯は自分で炊きまます。それからオセロをちよつとして、8時から9時くらいに床について、本を少し読んで寝ます。

③どんな本を読みますか？

夏目漱石や瀬戸内晴美が好きです。

④健康長寿の秘訣は？

まず、「有り難い」という感謝の心で暮らすことです。この心の持ち方で人生が違ってくると思えます。今でも、月2回、牧師さんに来てもらい、お話を聞き、賛美歌を歌い、神に感謝しています。

それと、毎日の生活を変えないことです。さっきの話の、毎日の生活のペースを崩さないことです。それから間食は全くしません。今は、毎日、ヘルパーさんが来てくれるので一人で居られます。これからも出来る限り一人で頑張っていきたいと思っています。何も不自由はありませんよ。耳は遠くなったけど、目はよく見えますから。

そして、生活をしていくのに甘えてはいけません。人それぞれ苦労はありますが、自分自身で生きていかなければなりません。でも、世の中は人の助けも必要ですがね。

⑤上島町に期待することは？

話し合いの上で、平和であればいいね。

今回、お話を伺う中で、川柳を聞かせてもらいました。

- 人生は雨の日曇り晴れの日もあり
- 今朝もまた新聞読める幸せ
- オセロして勝ち負け競う親子かな



帰郷していた娘さんとオセロの対戦をする田房さん。オセロの名人でもあります！

最後に、オセロの対戦をさせてもらいましたが、田房さんの完勝でした。これからお身体に気をつけて、ますますお元気でいてください。

広報かみじまでは、今月号からこのコーナーをスタートしました。

上島町にお住まいの方で、何かたけている名人・達人、長い間上島町でお仕事をされている職人の方等の情報をお寄せ下さい。

情報をお待ちしております。

■上島町企画情報課

TEL 0897-77-2500

FAX 0897-77-4011